

# ドイツと日本の違いとは

山士会  
酒田支部

## 星氏招き講演会

山形県建築士会酒田  
支部(赤谷典夫支部長)  
の女性部(新井野郁子  
部長)は18日、バウ  
ビオロギー研究会やN  
P.O.新月伐採国際協  
会、科学物質過敏症支  
援センター、ストップ  
温暖化センターなど多  
方面で活躍している仙

台市都市整備局の星ひとみ氏を招き、酒田市勤

労福祉会館で講演会を開いた。

これは、女性建築士の技能向上を目指して毎年実施しているもの。当日は、会員約20人が出席した。

星氏は、ドイツと日本の木造住宅の構造の違いについて「ドイツでは戦争の脅威から逃れるために城壁の中に町がつくられたため、限られた土地に多くの住民が居住しなければならぬ、そのため木造の高層住宅が発達した」と述べ、それを可能にしたのは「日本と違つて地震が少ないために、通し柱でなく管柱を使った壁式構造で荷重を支える方式が発達したため」と説明した。

また、バウビオロギー(建築生物学)について、「計算は、正確に綿密合再開発ビル「プリズマ」を例に、一般的な省エネ住宅との違いを解説。「バウビオロギーとは、人間と自然に適合した理性ある建築という意味」とした上で、その心得として必要なのは

「計算は、正確に綿密に、しかし最終判断は人間の心で行うこと、自然のみが建築行為の手本となることを忘れないこと」と強調した。



講演した星氏

